

令和4年11月17日

教員養成の質向上に関する諮問会議 議長殿

国立大学法人福岡教育大学長

飯 田 慎 司

教職の魅力発信と教員の養成及び育成に向けた取組について

福岡教育大学教員養成の質向上に関する諮問会議規程第2条に基づき、下記の事項について意見を求めます。

## 記

### 1 諮問事項

- (1) 教職を志望する優れた人材の確保のために求められる教職の魅力の発信について
- (2) 教職への高い意欲と基礎的な能力を持った人材の養成と優れた資質・能力を有する現職教員の育成について

### 2 諮問理由

別紙のとおり。

(理由)

福岡教育大学(以下、「本学」という。)は、「有為な教育者を養成し、文化の進展に寄与すること」を目的に定め、社会から求められる教育人材を養成し、地域の教育の発展に貢献することを自らの使命としております。

これまでも第3期中期目標期間(平成28年度～令和3年度)において、教員養成及び教師教育に関する機能の向上に取り組み、地域の学校の教員一人一人の資質向上に貢献すべく取り組んでまいりました。

一方で近年は、18歳人口の減少や、様々な背景を有する子どもたちへの対応、教育現場の急激なICT化など、我が国の学校や個々の教員は、複雑化・多様化した課題に直面しており、本学はこれらの課題に柔軟かつ適切に対応し、地域の教育の中核を担う教育人材の養成と育成が求められております。

そこで、第4期中期目標期間(令和4年度～令和9年度)においては、常に社会から求められる大学であるために、「地域社会を軸にした教育人材の養成と育成」、「大学の経営力強化」の2つの中長期的な視点を定め、事業を展開することとしております。

「教育人材の養成と育成」という観点から、教職に関する現状を見ると、令和4年3月に発表された全国の小学生、中学生、高校生計3,000人を対象に行った「なりたい職業」に関するアンケート調査<sup>1</sup>において、「教師/教員」は、中学生男子(N:471)で5位(4.9%)、女子(N:449)で7位(4.7%)、高校生男子(N:487)で4位(5.1%)、女子(N:459)で5位(5.2%)という結果であり、中学生、高校生にとって教師/教員という職業は、依然として高い人気を有しております。

しかしながら、全国で実施された公立の小中学校や高等学校などの採用試験では、近年、採用倍率<sup>2</sup>が低下傾向にあります。これは、教員の大量退職と大量採用による採用者数の増加の影響に加え、民間企業の採用動向及

<sup>1</sup> 第一生命『大人になったらなりたいもの』アンケート(第33回)より。

<sup>2</sup> 文部科学省「公立学校教員採用選考試験の実施状況について」より。

び急激な社会構造の変動、新規学卒者の職業選択意識の変化等によるものと考えられます。

このような状況の中で、文部科学省は、『令和の日本型学校教育』を担う教師の人材確保・質向上プラン（令和3年2月2日）において、教職の魅力を上げ、教師を目指す人を増やす取組や、社会人等多様な人材を活用した学校現場に参画する多様なルートを確保する取組を求めているところではあります。

また、教員の養成及び育成段階で求められる資質・能力の修得については、教員免許状更新講習廃止後の研修の充実や、質の高い社会人など広く多様な人材を確保するために、リカレント教育の充実の必要性など、新たな取組が求められております。

そのため、急激な社会状況の変化及び学校教育の課題を踏まえ、これからの学校教育を支える優れた人材の確保、養成、育成の在り方について、総合的に検討するため「教職の魅力発信と教員の養成及び育成に向けた取組について」について諮問を行うものであります。

具体的には、本学の第4期中期目標・中期計画（令和4年度～令和9年度）や、文部科学省における「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（令和3年1月26日）、公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針（令和4年8月31日改正）及びその後の検討状況も踏まえ、以下の事項を中心にご審議願います。

#### 1. 教職を志望する優れた人材の確保のために求められる教職の魅力の発信について

本学は、中期計画 No. 2 において、教師を志す者を着実に確保していくために、教師の魅力を発信することを計画しております。本計画は、単なる受験生の確保や、教員採用試験における採用倍率という数値の増減だけ

に注目するのではなく、持続的な人材確保という視点に立ち、「教員という職業の魅力」をいかに高めるかということについて、大学と自治体が連携・協同して検討していく必要があると考えております。

このような本学の計画につきまして、持続的な人材確保という視点から、具体的には、以下の事項などについて、ご意見をいただきたいと存じます。

教職の魅力の発信に関する効果的な取組の内容について

教職の魅力を発信するために求められる大学と関係機関との連携について

## 2. 教職への高い意欲を持った人材の養成と優れた資質・能力を有する教員の育成について

本学は、中期計画において、教員の養成段階、育成段階のそれぞれにおける取組を計画しております。

中期計画 No. 1 では、教員養成及び教師教育の質の向上における地域社会への貢献を図ることとし、教員養成段階における福岡県内の自治体のニーズに基づいた取組や、現職教員向けの各種研修事業の実施など、福岡県内の教育委員会と連携し、教員養成及び教師教育の質の向上に取り組みます。

中期計画 No. 4 では、学士課程の充実を図ることとし、令和元年度の福岡教育大学教員養成の質向上に関する諮問会議においてご検討いただいた、「教員就職率90%達成に向けた取組方策について(答申)」を受け、令和5年度より、学位プログラムと主専攻、副専攻制の導入を予定しております。これにより、学生は複数の免許種を取得しやすくなるなど、学校現場の需要に即した人材の養成を計画しております。

中期計画 No. 7 では、専門職学位課程における教育活動の活性化を図ることとし、特別支援教育に関する新たな教育カリキュラムの構築を検討し、既に関係する教育委員会と協議を進めているところです。

中期計画 No. 3 では、学生を主体とした正課及び正課外の活動を通じ、地域社会への貢献を図ることとし、第3期中期目標期間に取り組んでいた

主に学校において活動していた学生ボランティア活動と、サービス・ラーニング<sup>3</sup>の観点を取り入れた授業を接続し、教師として求められる資質・能力の育成及び社会性を高めた教育の実践に取り組みます。

このような本学の計画につきまして、持続的な人材確保という視点から、具体的には、以下の事項などについて、ご意見をいただきたいと存じます。

教職への高い意欲や優れた指導技術を有している人材の養成において、大学に期待する取組について

キャリアステージに応じて求められる資質・能力及び今日的な教育課題に対応した高度な知識や技能を有する現職教員の育成において、大学に期待する取組について

---

<sup>3</sup> サービス・ラーニングとは、学習活動と奉仕活動を統合させた学習方法である。サービス・ラーニングでは、学生が教室で得た知識を基に地域社会において社会貢献活動を行う。